|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 理解型実習の目標 | 自己分析（実習前の理解・把握している内容） | 実習中に理解・把握した内容 | 最終ゴール（体験型実習の目的） |
| オリエンテーションを受け、動物病院の概要、動物看護師の職務内容を理解する。 | 動物病院の概要歴史的背景例）把握していない地域特性例）把握していない診療方針例）把握していない職員構成獣医師　動物看護師　十分に把握はしていない動物看護師の職務内容受付・診察補助・入院動物の世話 | 例）学校飼育動物の教育に携わっていた　　周辺に他院がないことから、この地域での主要になっていた。　清掃業者がスタッフ外で配置されていた | 動物病院の概要（歴史的背景、地域特性、診療方針、職員構成等）を理解する。動物病院内で動物看護師の実際の業務や獣医師、動物看護師との連携、動物看護における職務内容を理解する。学内でのカリキュラム、各教科と実際の業務との関連を知ることで、必要性や目的を理解し意欲の向上を図る。 |
| 獣医師・動物看護師の業務内容（役割の違い、一日の流れなど）を把握する。 | 獣医師動物看護師 |  |
| 動物病院の施設見学をし、施設の概要や機能を理解する。 | 施設の概要や機能 |  |
| 動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解する。 | 衛生管理環境整備 |  |
| 学習者として適切に行動できるように社会常識やマナーを実践する | 実践できる社会常識やマナー |  |
| 学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実勢の動物看護業務との関連を知り、必要性を理解する。 | 振り返っておくべき教科 |  |

**自己分析（理解型）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 体験型実習の目標 | 自己分析（実習前の理解・把握している内容） | 実習中に理解・把握した内容 | 最終ゴール（体験型実習の目的） |
| オリエンテーションを受け、実習を通して実際の動物看護業務を体験し、その職務内容を理解する。 | 動物病院の概要歴史的背景例）把握していない地域特性例）把握していない診療方針例）把握していない職員構成獣医師　動物看護師　十分に把握はしていない動物看護師の職域受付・診察補助・入院動物の世話 | 例）学校飼育動物の教育に携わっていた　　周辺に他院がないことから、この地域での主要になっていた。例）必要な時に必要なものが使えるように在庫チェックを行っていた。　　歯磨き教室を動物看護師主体で行っていた。 | 動物病院の概要（歴史的背景、地域特性、診療方針、スタッフの構成等）を理解し、自身が動物病院でどのように就業、勤務するのかを考える。学校で修得した知識や技術が動物看護業務を実践する上で必須であることを理解する。飼い主対応や処置室等での臨床症例を見学し、可能な範囲で体験学習するなかで、円滑な人間関係を築くために必要な技術や能力を修得する。 |
| 可能な範囲で行う実習項目において、動物看護師としての業務、役割を果たす。 | 動物看護師 |  |
| チーム動物医療は獣医師、動物看護師、スタッフ全員が協力して行うチーム医療であることを理解し、良好なコミュニケーションをとる。動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解する。 | チーム動物医療 |  |
| 動物愛護の精神、言葉遣い、プライバシーの尊重など基本的な事項について理解する。 | 動物愛護精神言葉遣いプライバシーの尊重 |  |
| 学内でのカリキュラムや各教科と実際の業務との関連について、認識を深める。 | 振り返っておくべき教科 |  |

**自己分析（体験型）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実務型実習の目標 | 自己分析（実習前の理解・把握している内容） | 実習中に理解・把握した内容 | 最終ゴール（体験型実習の目的） |
| オリエンテーションを受け、動物看護師として実際に就業することを理解する。 | 動物病院の概要歴史的背景例）把握していない地域特性例）把握していない診療方針例）把握していない職員構成獣医師　動物看護師　十分に把握はしていない動物看護師の職域受付・診察補助・入院動物の世話 | 例）学校飼育動物の教育に携わっていた　　周辺に他院がないことから、この地域での主要になっていた。例）必要な時に必要なものが使えるように在　　庫チェックを行っていた。　　歯磨き教室を動物看護師主体で行っていた。 | 動物病院の概要（歴史的背景、地域特性、診療方針、スタッフの構成等）を理解し、チーム動物医療を体験する。総合的な動物看護の実務に関わる指導を受け、動物看護師の実務能力を修得する。動物看護師としての役割や責任について、認識を深める。 |
| 指導者の助言を受けながら、動物病院における獣医師との連携のなかで看護計画の展開を修得し、動物看護実務を遂行できる能力を養う。 |  |  |
| 動物看護に関する多くの項目についての技術を、可能な限り体験し学習する。 | 動物看護に関する項目 |  |
| 動物病院内における、動物看護師の役割やチーム動物医療の機能、行動、責務について考えることができる。 | チーム動物医療の機能、行動、責務 |  |
| 動物愛護の精神、言葉遣い、プライバシーの尊重など、基本的な事項についての認識を深める。 | 動物愛護精神言葉遣いプライバシーの尊重 |  |
| 学内でのカリキュラムや各教科と動物病院における実際の動物看護業務との関連を十分に把握し、実践に活かす。 | 振り返っておくべき教科 |  |

**自己分析（実務型）**